

アスパラガス栽培管理 (H30.2.)

(有) 丸 富

1月は曇天が多く、日照不足で地温が低い状態が続いた。特に下旬は寒波の影響で強い冷え込みがあった。収穫が始まっているところでは、生育が遅く収穫量が伸び悩んだ。

病害対策

茎枯れ病や立枯れ病など罹病株は、根株を取り除く。土を埋め戻す際に、**ハイプロ**を土に**10%**混ぜて埋め戻す。また、拡大予防に**ハイプロ**を地表面に**3~5袋/10a**撒布する。

害虫対策

地温が上がると越冬した害虫が動き出すので、暖かくなったら注意が必要。害虫の発生を確認したら、速やかに防除を行う。

越冬した害虫の繁殖予防に**バイオアクト TS 50~70cc/10a**を時々灌水する。

有害ガス除去

保温(蒸し込み)で地温を上げて萌芽を促進するため、有機質肥料や堆肥からアスパラガスに有害なガスが大量に発生する事がある。アンモニアガスなど有害なガスが根傷みを引き起こし、春芽が減収することが多い。

有害ガスの除去に**Gバランス細粒 10kg/10a撒布**(又は**GバランスDF 1kg/10a**、1ヶ月毎に灌水)を行う。

萌芽後対策

地温が18℃以下の低温下では生長が鈍い。地温が低い時は、若茎に直接散布し、伸長を促す。

低温時は伸長を促進する**笑顔 500~1,000倍**(又は**バイオシャインゴールド**)を3~5回連続して葉面散布する。

養分転流促進

土づくりで施したリン酸、カリ、微量元素も地温が低いと吸収し難い。吸収した養分の転流効率を上げ、若茎の伸長を促す。

養分の転流促進に**サンミネーラ 50~100cc/10a**と**天地の恵み 200~300cc/10a**を時々灌水する。

伸長促進(直接吸収)

葉面散布を活用し、光合成同様の養分を補給する。**笑顔 500倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を連続散布する。

追肥(液肥)

土壤環境、並びに作型、天気、根の働きによっても増減する。

天地の恵み(又はプロ液肥)	200g(1kg)/10a	} 5~7日ごとに灌水する場合 ※収穫量や土壤条件、天候によって加減する。
時を越えた贈り物	200g/10a	
サンミネーラ(又はシリカアップ)	50~100g(100cc)/10a	
バイオアクト TS	50~70cc/10a	

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 0942 - 65 - 0123 (TEL)

FAX 0942-65-1091 (24時間受付) 携帯 090-3328-7603 (富松まで)